

DIAM高格付インカム・オープン<DC年金> (愛称：ハッピークローバー<DC年金>)

◆ファンドの特色

元本確保型の商品ではありません

- ・主な投資対象・・・高格付資源国の公社債
- ・目標とする運用成果・・・安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。

◆基準価額、純資産総額

基準価額	17.477円
純資産総額	2,565百万円

◆基準価額の推移グラフ



◆資産構成

債券	98.91%
債券先物等	0.00%
債券実質	98.91%
現金等	1.09%

\*資産構成は実質組入比率。

◆為替ヘッジ

為替ヘッジ比率	0.0%
---------	------

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド
平均複利回り	3.58%
平均残存期間(年)	7.47
修正デュレーション	5.99

◆ファンド(分配金再投資)の収益率とリスク(標準偏差)

	3ヶ月間	6ヶ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率(分配金再投資)	1.90%	-1.06%	-6.27%	2.33%	3.47%	1.02%	2.71%
ファンドリスク(分配金再投資)	—	—	7.79%	8.30%	8.11%	7.91%	10.54%

\*ファンド(分配金再投資)の収益率とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入(再投資)した場合の収益率です。

\*収益率は年率換算。但し、3ヶ月、6ヶ月および1年未満の場合の設定来の収益率は、年率換算していません。

\*設定月(2005年11月)の実績は上記の収益率およびリスクに含まれておりません。

◆公社債通貨別構成比

	通貨別組入状況		
	組入債券	為替予約・先物	計
カナダ・ドル	39.69%	0.00%	39.69%
ノルウェー・クローネ	9.80%	0.00%	9.80%
オーストラリア・ドル	39.37%	0.00%	39.37%
ニュージーランド・ドル	10.04%	0.00%	10.04%

\*純資産総額に対する実質組入比率です。

◆公社債残存別構成比

残存年数	ファンドのウェイト
1年未満(現金等含)	10.84%
1年以上3年未満	13.02%
3年以上7年未満	37.27%
7年以上10年未満	21.87%
10年以上	17.00%

\*ファンドのウェイトとは、純資産総額に対する実質組入比率です。

◆外国公社債上位銘柄

(ファンドのウェイト：%) (組入銘柄数：72)

No.	銘柄	通貨	ファンドのウェイト	残存年数
1	EXPORT DEVELOPMNT CANADA 4.5 09/06/28	オーストラリアドル	4.98	3.183
2	CANADA 4.0 03/01/29	カナダドル	3.95	3.669
3	CANADA 3.5 03/01/28	カナダドル	3.87	2.669
4	CANADA 3.25 12/01/34	カナダドル	3.65	9.419
5	CANADA 1.25 06/01/30	カナダドル	3.16	4.919
6	AUSTRALIAN 4.5 04/21/33	オーストラリアドル	2.94	7.808
7	AUSTRALIAN 2.5 05/21/30	オーストラリアドル	2.81	4.892
8	KOMBNK 4.9 10/05/26	カナダドル	2.59	1.264
9	KOMBNK 4.25 07/16/25	オーストラリアドル	2.48	0.044
10	CANADA 2.5 12/01/32	カナダドル	2.42	7.419

\*ファンドのウェイトとは、純資産総額に対する実質組入比率です。

■当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■「DIAM高格付インカム・オープン<DC年金>(愛称：ハッピークローバー<DC年金>)」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を関東財務局長に提出し、その届出の効力は発生しております。「DIAM高格付インカム・オープン・マザーファンド」の受益証券の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定による有価証券届出書の提出を行っていません。■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者のみなさまに対して、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、実質的に債券など値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成しましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。